

## 2015年 UWWルール変更について (追加) 5/29

(公財) 日本レスリング協会  
審判委員会

5月13日付でルール改正をHPで掲載しましたが、5月22日～24日にUWW審判会議がフランクフルトで実施され、以下の点が追加改正されました。  
リオデジャネイロオリンピックまでは、今回のルールで実施されます。  
関係者はルールをよく理解し、試合に臨むようお願いいたします。

### グレコローマンスタイルルールの変更について

\*全ての年代の変更点は以下のとおりとする、

- 1) 全ての反則は「○+2」とする。
  - \* 投げられた時に、反則をした場合 4点+○+2点
  - \* 頭突き・平手打ち・全ての脚を使う反則(攻撃者・防御者共)  
シングレットを掴む行為・指を絡める行為等(禁止事項)
  - \* 攻撃者の反則(足かけ等) 1回目注意・2回目 ○+2とする。
  - \* 場外逃避・技術回避はダイレクトに○+2とする。
  - \* パーテレポジションのフライング(上・下の選手共)
  - \* スタンドの反則はスタンドからグラウンドの反則はパーテレからスタート。
  
- 2) 大技の投げの5点は継続。
  
- 3) スタンドからダイレクトのデンジャーは4点。  
リフトからのグラウンドアンプリチュードからノーデンジャー 4点 (改正点)  
パーテレからリフトでのダイレクトデンジャーは4点
- 4) スタンドからのデンジャーにならない投げ技は2点(コレクトホールド)  
パーテレからリフトのデンジャーポジションにならない場合は2点
  
- 5) 場外に1足でた場合は従来通り、1Pとする。しかし攻撃選手が技をかけて1足でた場合はペナルティはなしとする。
  - \* 押し出しは No Point (1回目注意・2回目 ○+2)
  - \* 攻撃者は1足出たあとの技は有効とする。
  - \* 攻撃者が1足出て技がストップした場合はペナルティなしでセンターから
  - \* 攻撃者が2足出てかけた場合、ストップでポイントなしでセンターから
  
- 6) パーテレの反則について
  - \* パーテレでの防御者は両手を開いて守らなければならない。
  - \* 防御レスラーが攻撃レスラーのホールドを防ぐために肘を身体に近づけたり

(脇を締める) 肘や膝・脚を閉じることをしてはならない。  
違反するレスラーに対し、口頭注意が与えられ従わない場合、または再度  
行った場合は○+2点が与えられ再度、パーテレから再開する。

- 7) 全てのガッツレンチは2点とする。(回数に制限なし)  
\*攻撃者が肩をついた場合(オートツッシュ)の失点は廃止する

## シニア階級の変更点について

- 1) オーダードパーテレの継続(○でなくPを与える)  
1回目 試合を止めずに明確な口頭注意(レマーク)  
2回目 試合を止め、Pを与え上・下の選択  
3回目 試合を止め、P+1を与え上・下の選択  
4回目以降 試合を止め、P+1を与え上・下の選択

\*0-0の場合は4分30秒以内にどちらかのレスラーに3回目の注意を与え  
1点を成立させなければならない。

## その他の年齢グループの変更

(スクールボーイ・カデット・ジュニア・U23)

- 1) オーダードパーテレの廃止  
1回目 試合を止めず口頭注意(レマーク)  
2回目 試合を止めずPを与える。  
3回目 試合を止めずP+1を与える。  
4回目 試合を止めずPを与える  
5回目 試合を止めずP+1を与える。  
\*2回目のPで相手に1点を与えるが試合は中断しない。

## フリースタイルの改正点(新改正点)

- 1) ガッツレンチ・アンクルホールド等の技は全て2点とする。(回数に制限なし)  
\*オートツッシュの失点1は廃止とする。
- 2) フリースタイルでタックルで持ち上げて、場外に出た場合はノーポイント。  
タックルからのステップアウトの場合は1点失点とする。

追記

- \* チャレンジのVTRをみる審判員は  
審判長（インストラクター）  
ジュリー（スーパーバイザー）  
マットチャーマンの3名とする。

\* ポイントはジュリーが提示し、プラスポイントはマットチャーマンが提示する。

\* 以上の変更点は、5月29日より実施するものとする。